

# 2017年3月期 第2四半期 決算説明会

2016年11月1日

NECネットエスアイ

(銘柄略称：NESIC 証券コード：1973)

代表取締役執行役員社長

和田 雅夫

# 目 次

1. 上期実績概要
2. 通期業績見通し

# **1. 上期実績概要**

## 2. 通期業績見通し

## 通信事業者の投資抑制の影響や、 消防・防災システム事業の減少により減収減益

- 大型PJ(太陽光発電所)により受注高は前年同期比増加
- キャリアNWの構造改革成果により売上総利益率が改善
- キャリアNWの落込みと低採算案件の発生により営業利益予想未達

(単位：億円)

|                                        | 16年3月期<br>2Q(3ヵ月) | 17年3月期<br>2Q(3ヵ月) | 前年同期<br>差/比  | 16年3月期<br>上期 | 17年3月期<br>上期 | 前年同期<br>差/比   | 上期予想値<br>(4月28日) | 予想差           |
|----------------------------------------|-------------------|-------------------|--------------|--------------|--------------|---------------|------------------|---------------|
| 受 注 高                                  | 710               | 835               | +18%         | 1,415        | 1,444        | +2%           | 1,400            | +44           |
| 売 上 高                                  | 708               | 662               | △7%          | 1,278        | 1,188        | △7%           | 1,200            | △12           |
| 売 上 総 利 益 率                            | 15.0%             | 15.7%             | +0.7pt       | 15.0%        | 15.2%        | +0.2pt        | -                | -             |
| 営 業 利 益<br>(営業利益率)                     | 28<br>(3.9%)      | 22<br>(3.3%)      | △6<br>△0.6pt | 35<br>(2.8%) | 17<br>(1.5%) | △18<br>△1.3pt | 30<br>(2.5%)     | △13<br>△1.0pt |
| 親会社株主に帰属する<br>四 半 期 純 利 益<br>(四半期純利益率) | 16<br>(2.2%)      | 15<br>(2.3%)      | △0<br>+0.1pt | 19<br>(1.5%) | 10<br>(0.9%) | △9<br>△0.6pt  | 16<br>(1.3%)     | △6<br>△0.4pt  |
| フリー・キャッシュ・フロー                          | △42               | △1                | +40          | 135          | 179          | +43           |                  |               |

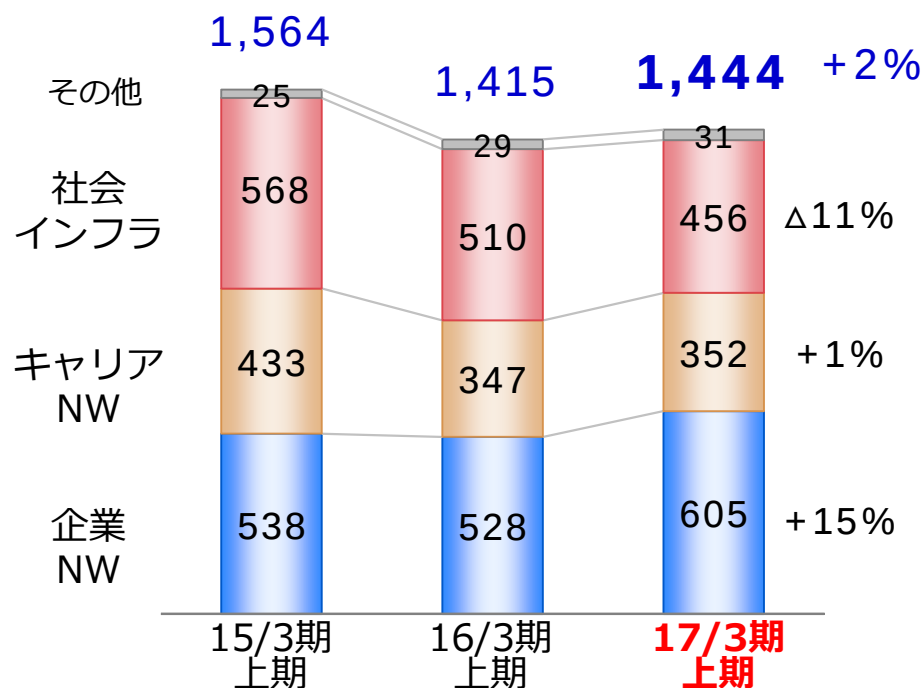
# 2017年3月期 上期 セグメント別受注高／売上高

■ 受注高：通信事業者の投資抑制の影響、消防・防災システム事業の減少も、大型PJの受注(+130)や一般企業向けの拡大により前年同期比増加

■ 売上高：通信事業者の投資抑制の影響、消防・防災システム事業の減少により前年同期比減少

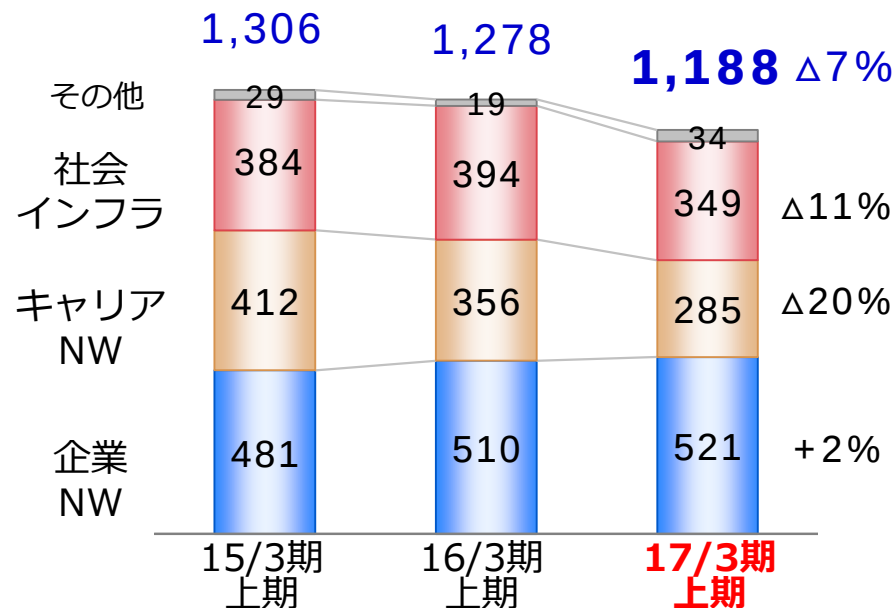
## 受注高

(単位：億円)



## 売上高

(単位：億円)



## X-Elio社※より太陽光発電所建設を受注 (エクセリオ)

X-ELIO

※X-Elio：スペインに本社を置く太陽光発電事業者。  
18か国以上でビジネスを展開している。

- 受注総額 約130億円
- 定格発電出力 58Mw
  - ・ 宮城県白石市 22Mw
  - ・ 宮城県黒川郡 36Mw
- 工期 2016年10月  
～2018年8月

総開発面積が85万m<sup>2</sup>に及ぶ事業用地に、  
電気、土木、監視・パネルなどを手掛ける  
大規模プロジェクト

全社横断体制を構築

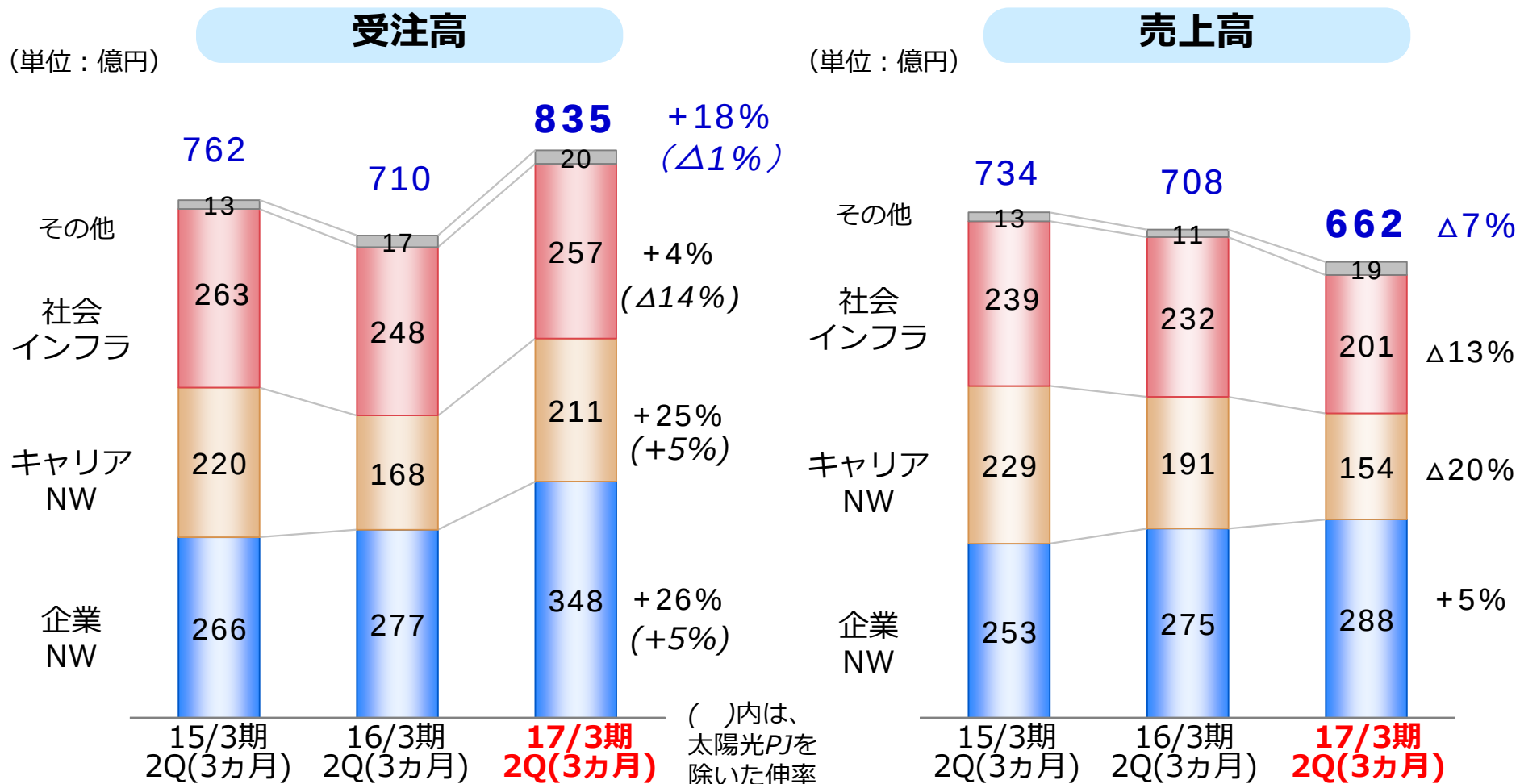


X-Elio社の太陽光発電所  
(フエンテ・アラモ、スペイン)

# 2017年3月期 2Q(3カ月) セグメント別受注高／売上高

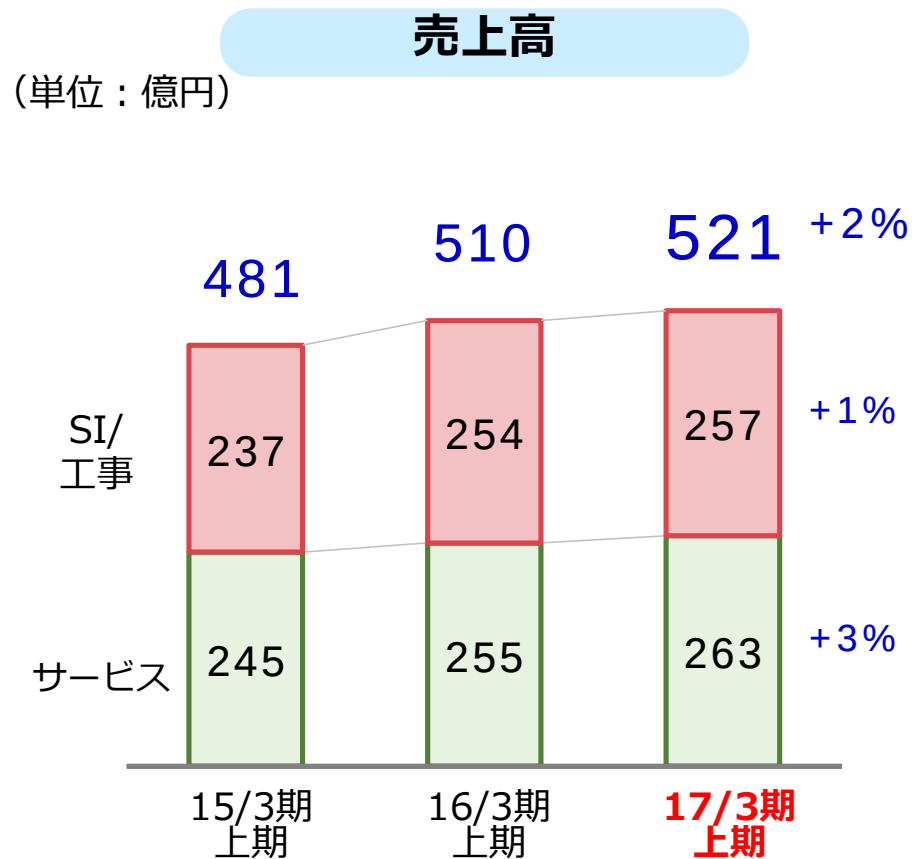
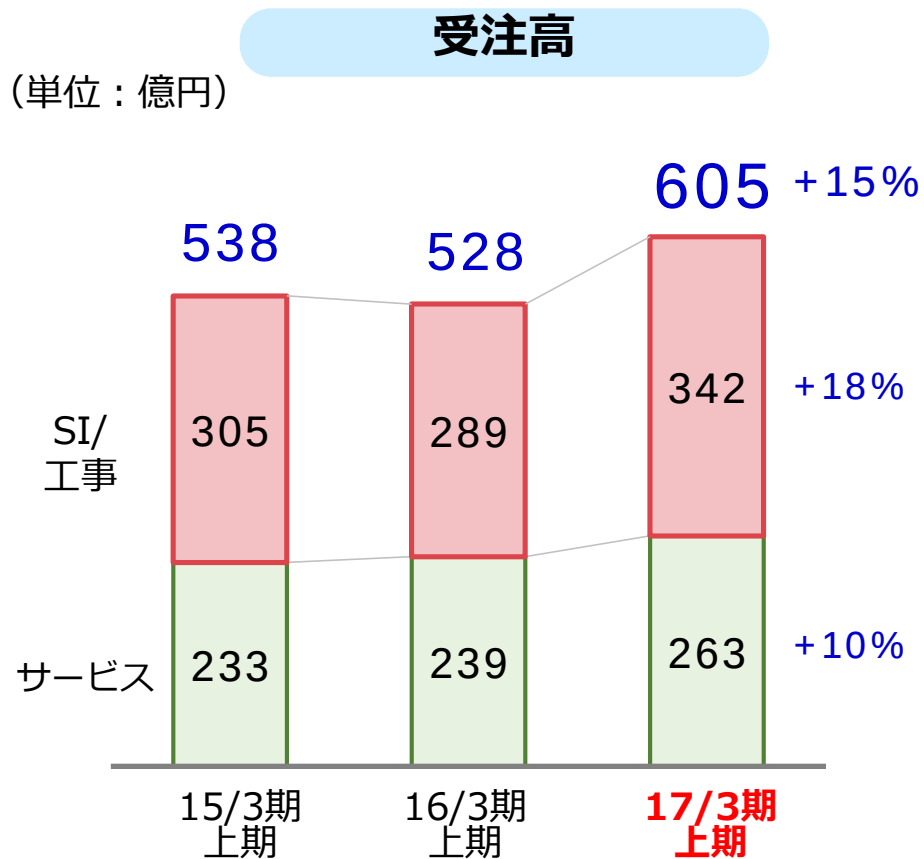
2Q受注高は、大型PJ(太陽光発電所建設PJ：+130)の影響で大幅増

- 大型PJを除いた受注高は、企業NWが堅調に推移し前年並み



## 働き方改革分野が堅調に拡大し、前年同期比増収継続

- EmpoweredOffice売上高：+15%
- 一般企業向け受注高も着実に増加

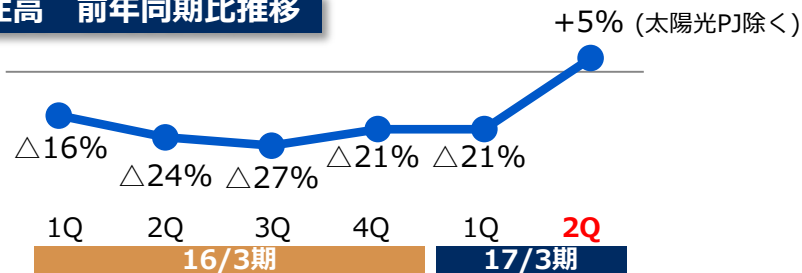




# 売上高は通信事業者の投資抑制の影響を受け、前年同期比減少

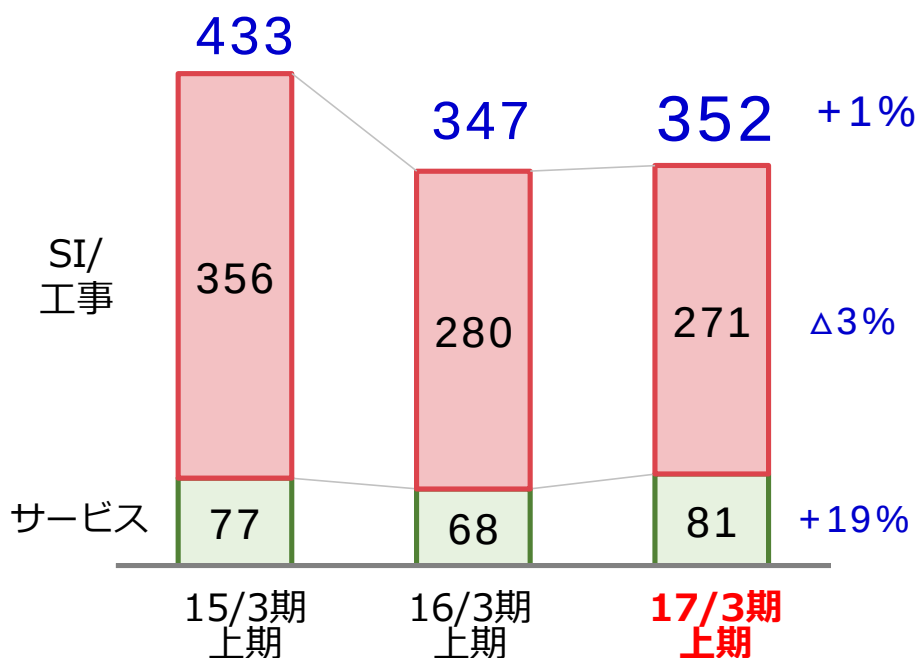
- 受注高には底打ちの兆し  
(2Q受注高※太陽光PJ除き：+5%)

受注高 前年同期比推移



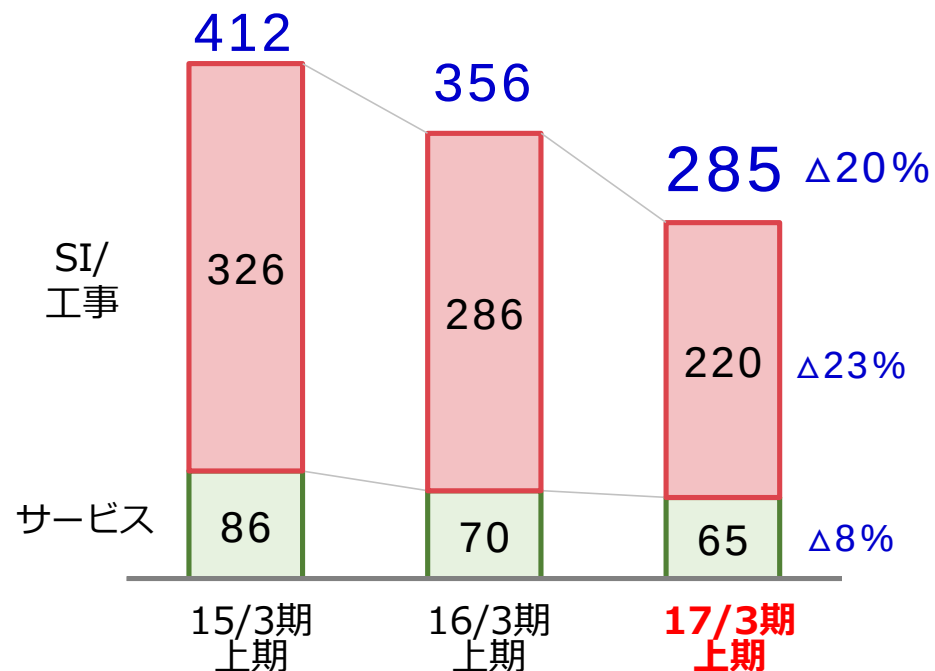
受注高

(単位：億円)



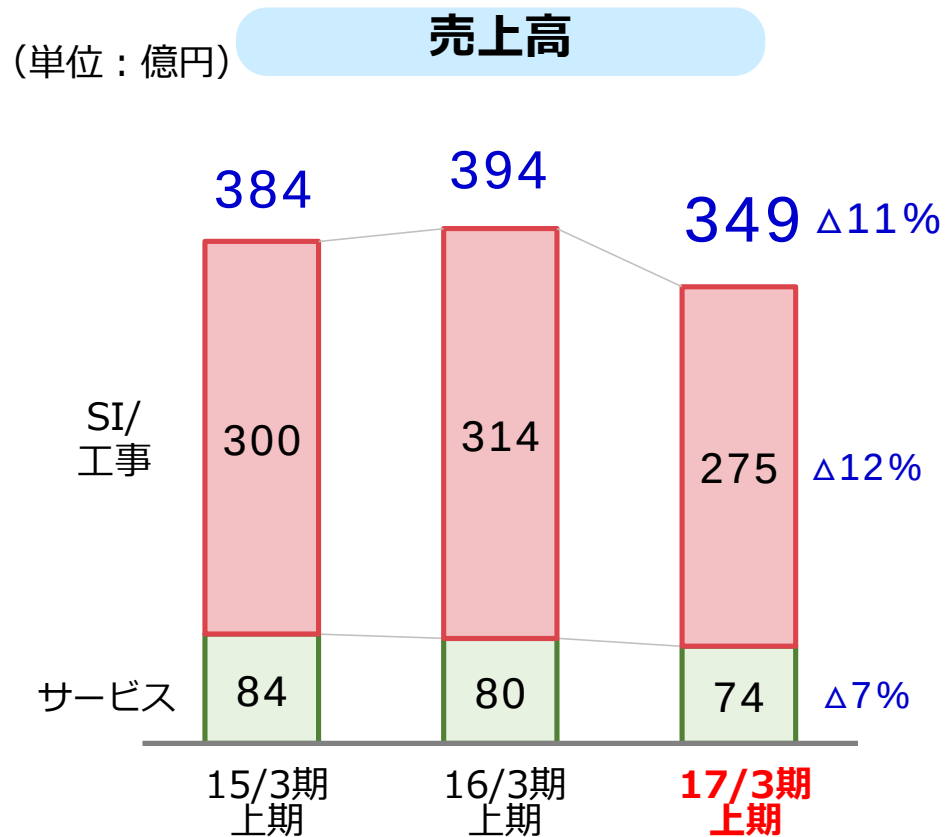
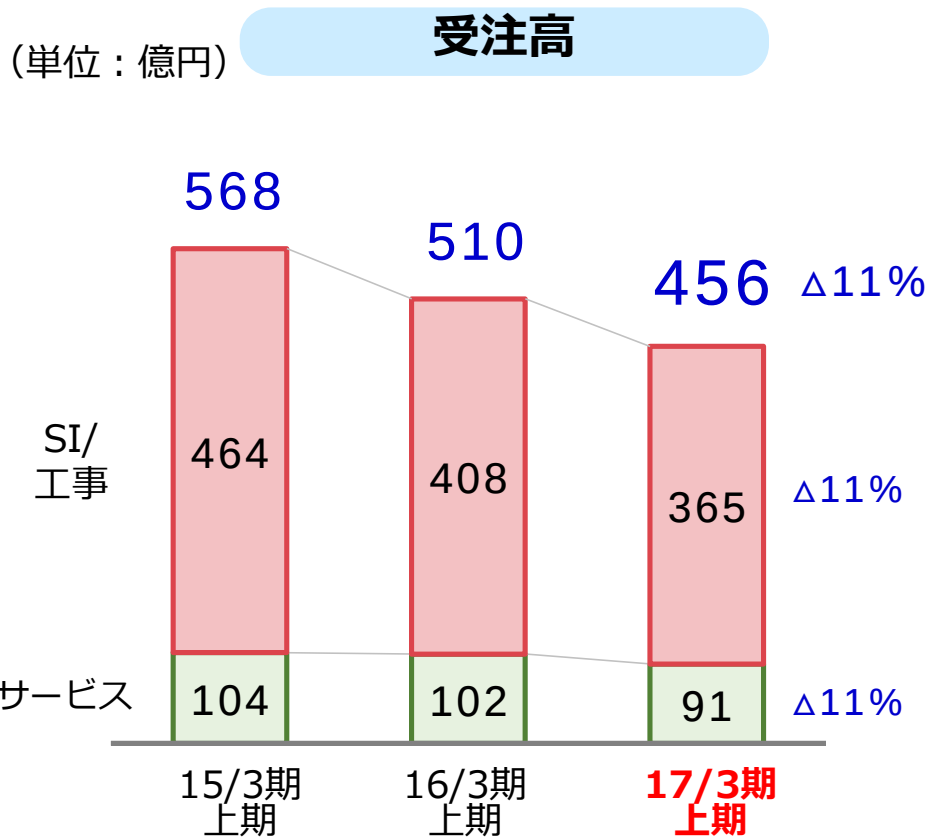
売上高

(単位：億円)



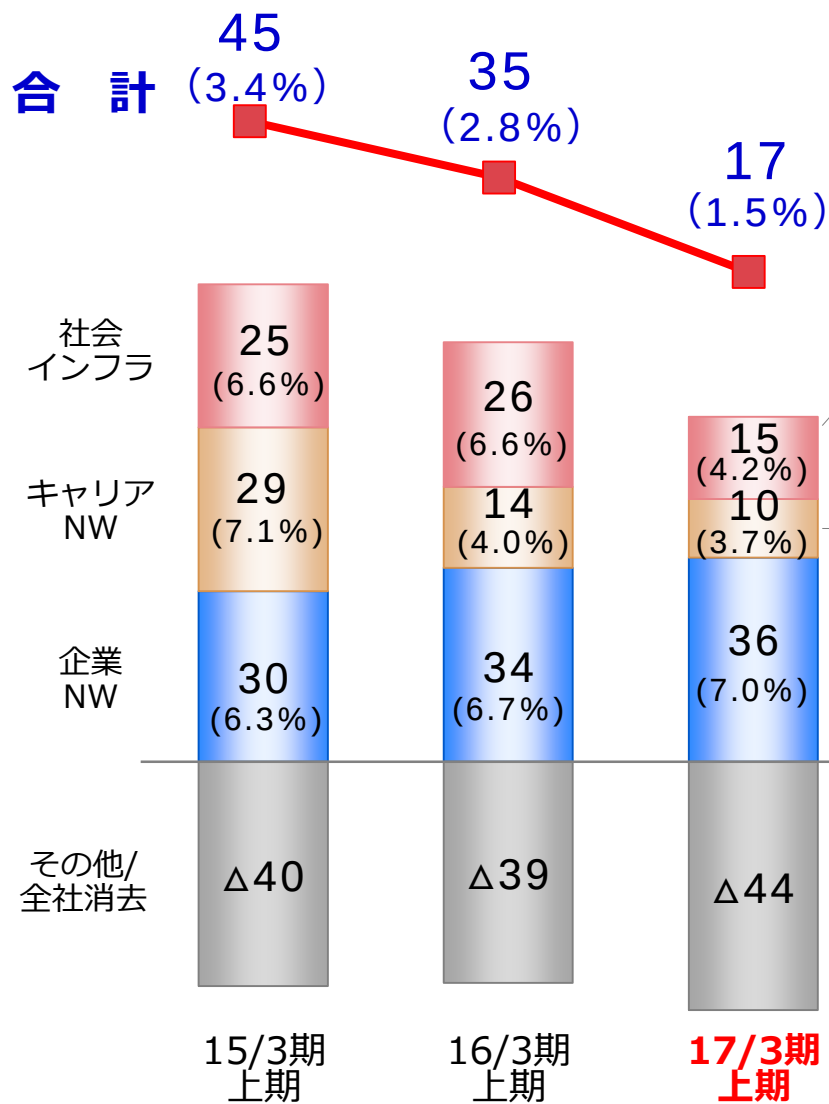
# 売上高は、海外事業、放送・CATV分野が拡大も、消防救急無線デジタル化プロジェクトの終了に伴い前年同期比減少

- 受注高は、消防・防災システム事業の減少や下期への期ずれなどの影響



# 2017年3月期 上期 セグメント別営業利益

(単位：億円)



## 企業NWが増益も、キャリアNW、社会インフラにおける売上減の影響により減益

- 社会インフラ
  - ・売上減により減益
  - ・1Q低採算案件の影響により原価率悪化
- キャリアネットワーク
  - ・売上減により減益
  - ・コスト構造改革効果により原価率改善
- 企業ネットワーク
  - ・売上増により増益
- その他/全社消去
  - ・システム開発費および外形標準課税の増加

1. 上期実績概要

**2. 通期業績見通し**

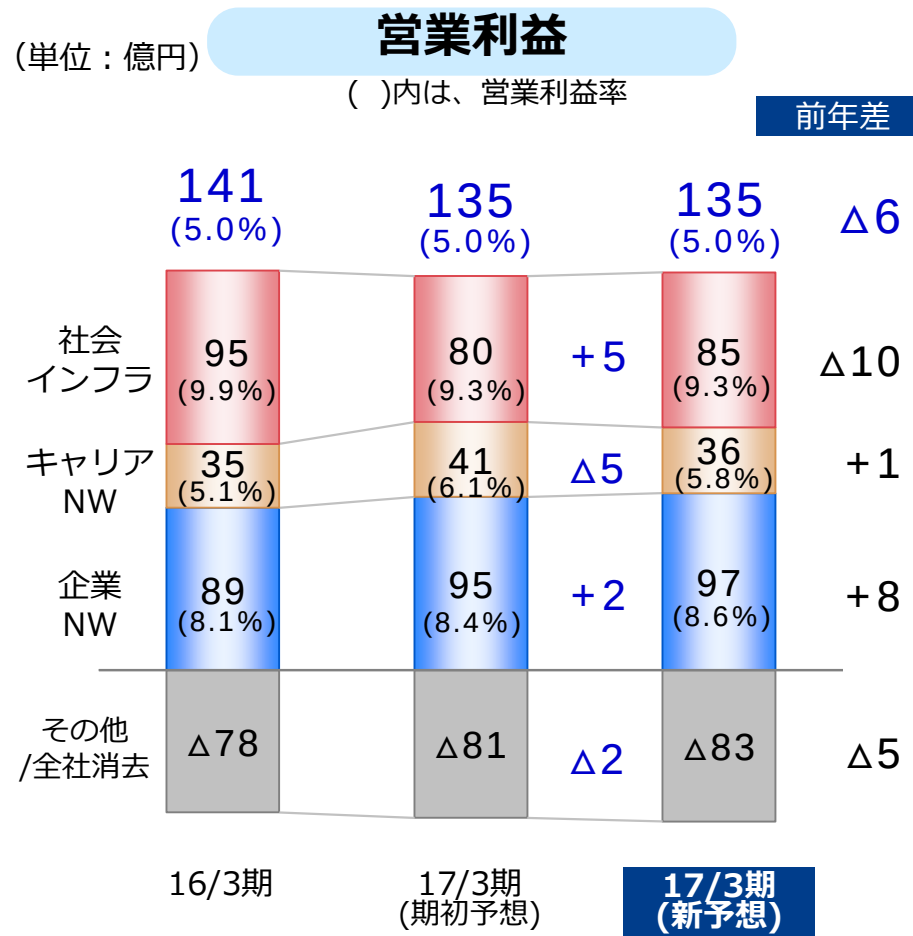
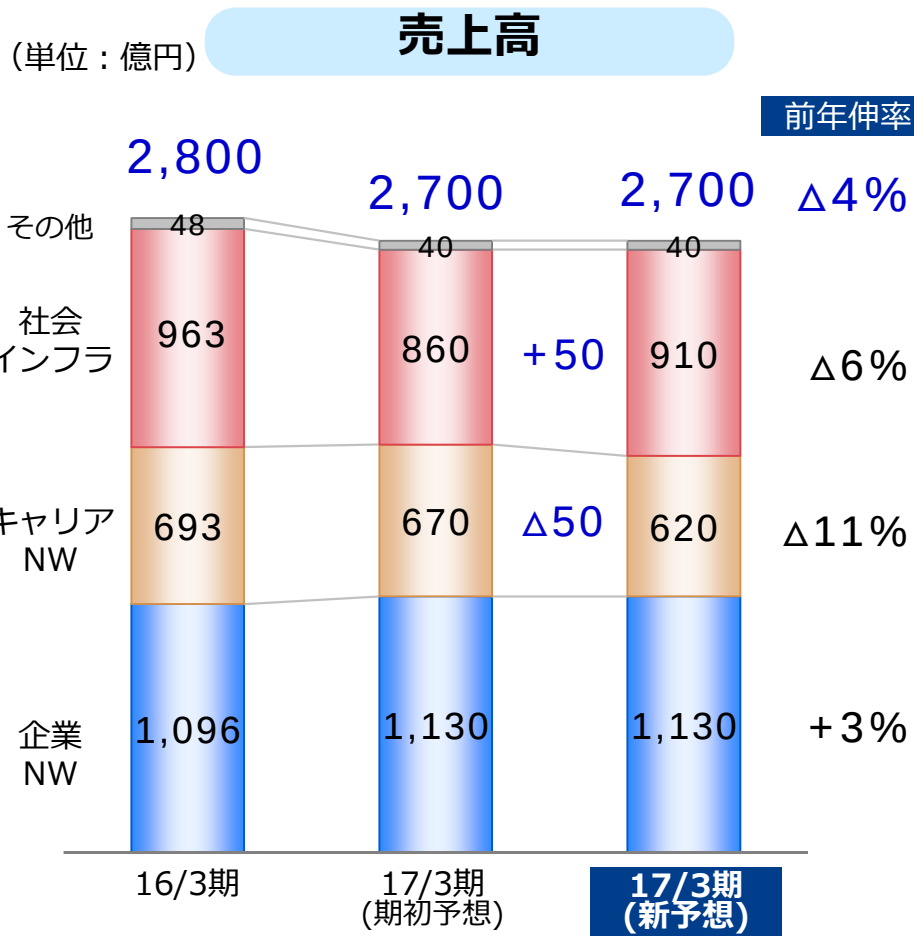
# ■ 上期の遅れを挽回し、期初予想を目指す

(単位：億円)

|                                     | 16年3月期<br>実績  | 17年3月期<br>予想  | 前期差/比         |
|-------------------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 受 注 高                               | 2,749         | 2,800         | +2%           |
| 売 上 高                               | 2,800         | 2,700         | △4%           |
| 営 業 利 益<br>(営業利益率)                  | 141<br>(5.0%) | 135<br>(5.0%) | △6<br>0.0pt   |
| 親会社株主に帰属する<br>当 期 純 利 益<br>(当期純利益率) | 60<br>(2.1%)  | 80<br>(3.0%)  | +20<br>+0.9pt |

(予想値は2016年10月31日現在のものです)

# 上期進捗に鑑み、セグメント別の業績予想を見直し、 期初予想を目指す



(予想値は2016年10月31日現在のものです)

## 再成長に向けた足場固めの1年

### トップラインの拡大

- 堅調な企業ネットワークの着実な成長と  
国内外大型インフラプロジェクト※の確実な遂行  
※放送・CATV、公共、海外インフラなどを拡大

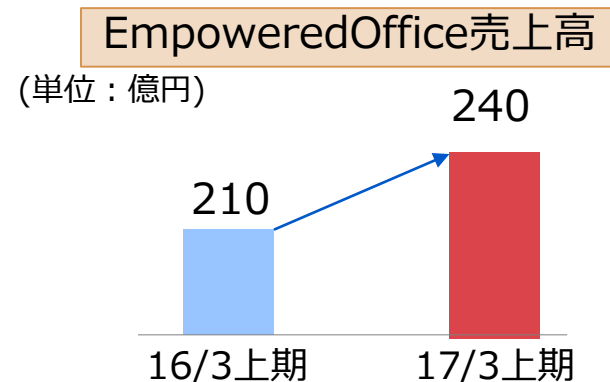
- 中期経営計画注力分野の強化
  - ・ サービス事業、インフラ事業、グローバル事業

### 収益基盤の再構築

- キャリアネットワーク事業の更なる収益改善
- プロジェクトマネジメント力の強化

## サービス事業（EmpoweredOffice）

- 働き方改革ソリューションの実績拡大
  - ・ EmpoweredOffice売上高：+15%
- プレゼンス向上に向けた取組み
  - ・ 文化庁の関西移転に向けた実証実験に参加
    - SmoothSpaceを活用したテレワーク環境を提供
  - ・ ライブオフィス来場者 累計3万人突破
    - 「働き方改革」気運の高まりを受けた来場加速
- 働き方改革関連の新商材投入
  - ・ クラウド型PBX「ネッツボイス」
  - ・ 双方向ディスカッションツール「SmoothDiscussion」



➡ 働き方改革に対する高いニーズを着実に捉え拡大  
実証実験を活用し、自治体・学校などの市場開拓



## グローバル事業（アウトバウンド）

### ● ミャンマー事業

- ・ 合併会社設立(16年4月)後、通信事業者インフラSI、局舎設備増強などを取込み、計画を上回る好調な立上がり

### ➡ ローカルビジネスの強化 オフショア開発など事業領域の拡大

### ● タイ事業

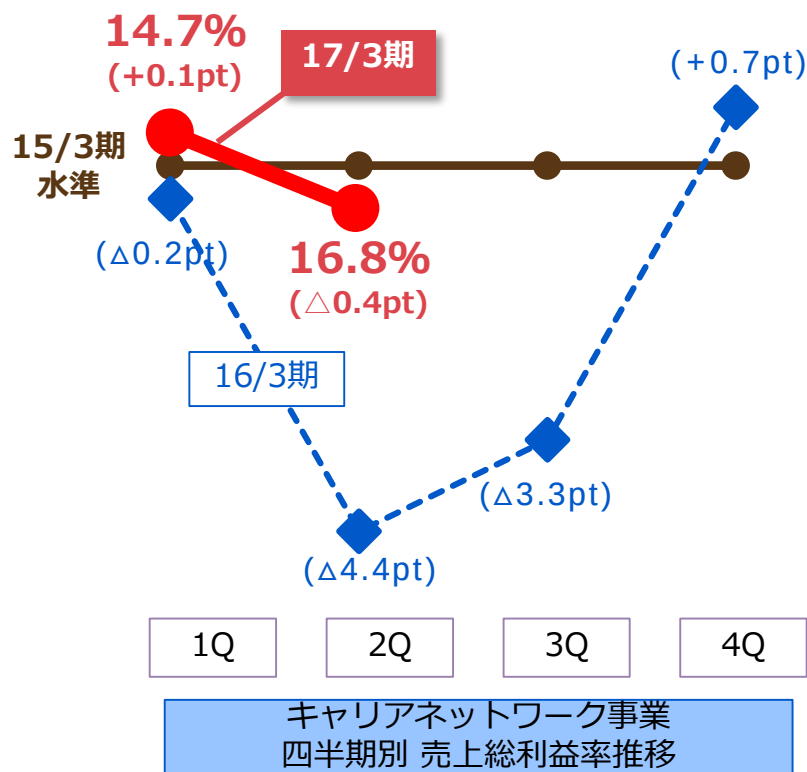
- ・ タイAIS様向け光ケーブル敷設PJ遂行
  - ブロードバンド拡張に向けた光ケーブルの敷設工事（フェーズ1&2 約15億円）

### ➡ 実績を評価されフェーズ3の受注見込み（約15億円）



## キャリアネットワークの収益改善

コスト構造改革の成果で  
GP率が悪化前の水準に回復



### これまでの取組み

- 内製化による外注費の削減
- 保守事業体制の効率化推進

➡ ゼロベースでの見直しを行い  
引続き効率化を図る

### 更なる収益性改善に向けて

- 社内リソース配置の最適化
  - ・ キャリアNWからのリソースシフトを実施

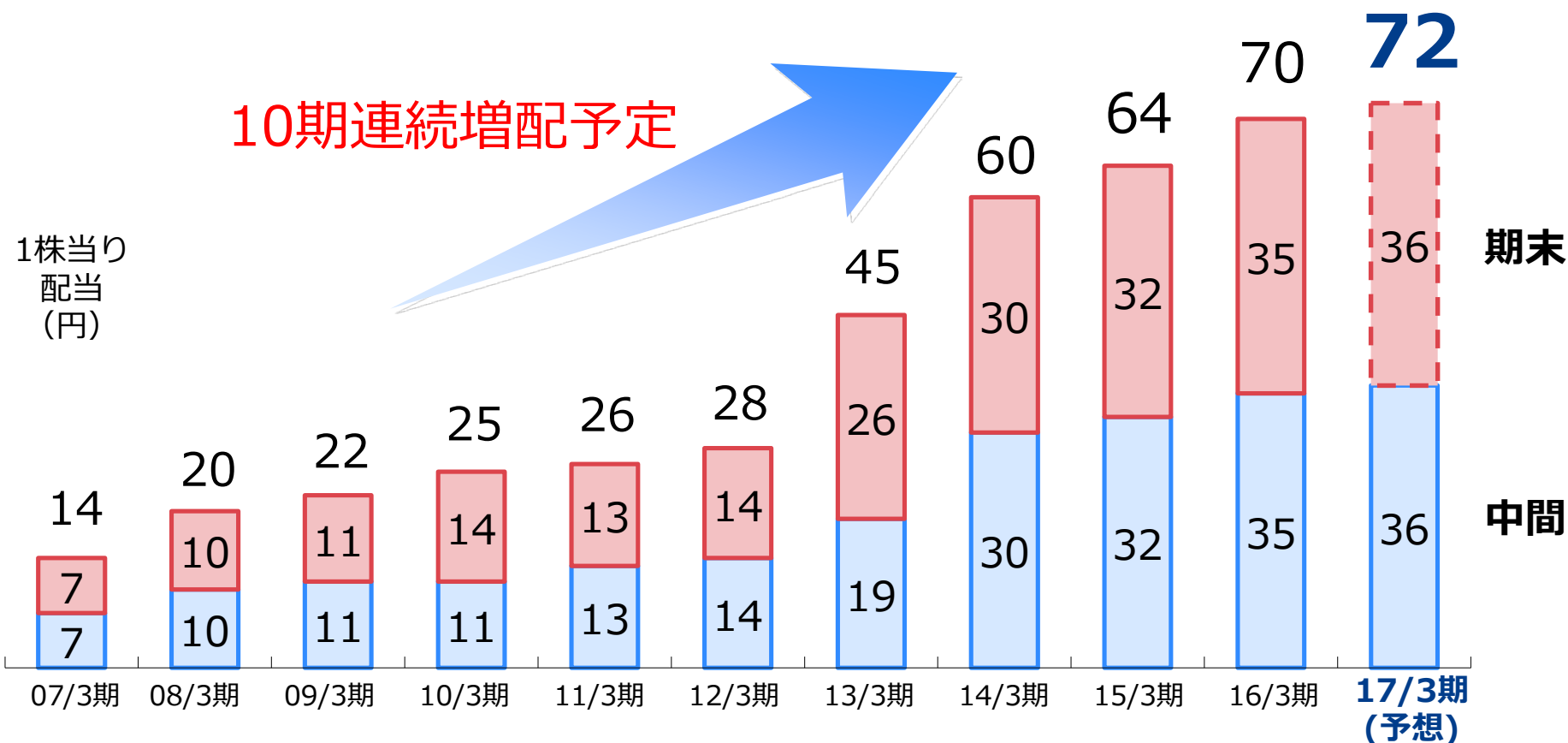
➡ 企業NW、社会インフラの事業力強化

(※予想値は、2016年10月31日現在)

## ■ 期初計画どおり、36円/株の中間配当を実施

- 期末配当計画も変更なし

10期連続増配予定



# 中計達成に向けて 受注拡大、収益基盤の再構築 を加速

事業の成長

組織の成長

人の成長

コンプライアンス最優先の事業遂行

株主価値向上

# (参考)2017年3月期 上期(16年9月末) バランスシート

(単位：億円)

|  |           | 16年3月末 | 16年9月末 | 増 減  |
|--|-----------|--------|--------|------|
|  | 現金及び現金同等物 | 439    | 602    | 163  |
|  | 受取手形及び売掛金 | 1,048  | 749    | △299 |
|  | たな卸資産     | 92     | 110    | 18   |
|  | その他流動資産   | 97     | 108    | 11   |
|  | 流動資産合計    | 1,676  | 1,570  | △107 |
|  | 固定資産合計    | 289    | 281    | △9   |
|  | 資産合計      | 1,966  | 1,850  | △115 |

|  |             |       |       |      |
|--|-------------|-------|-------|------|
|  | 支払手形及び買掛金   | 392   | 310   | △82  |
|  | 借入金         | 85    | 86    | 1    |
|  | その他負債       | 545   | 517   | △28  |
|  | 負債合計        | 1,022 | 913   | △109 |
|  | 株主資本合計      | 971   | 964   | △7   |
|  | その他の包括利益累計額 | △44   | △43   | 1    |
|  | 非支配株主持分     | 17    | 17    | 0    |
|  | 純資産合計       | 944   | 938   | △6   |
|  | 負債純資産合計     | 1,966 | 1,850 | △115 |

|        |       |       |         |
|--------|-------|-------|---------|
| 自己資本比率 | 47.2% | 49.8% | + 2.6pt |
|--------|-------|-------|---------|

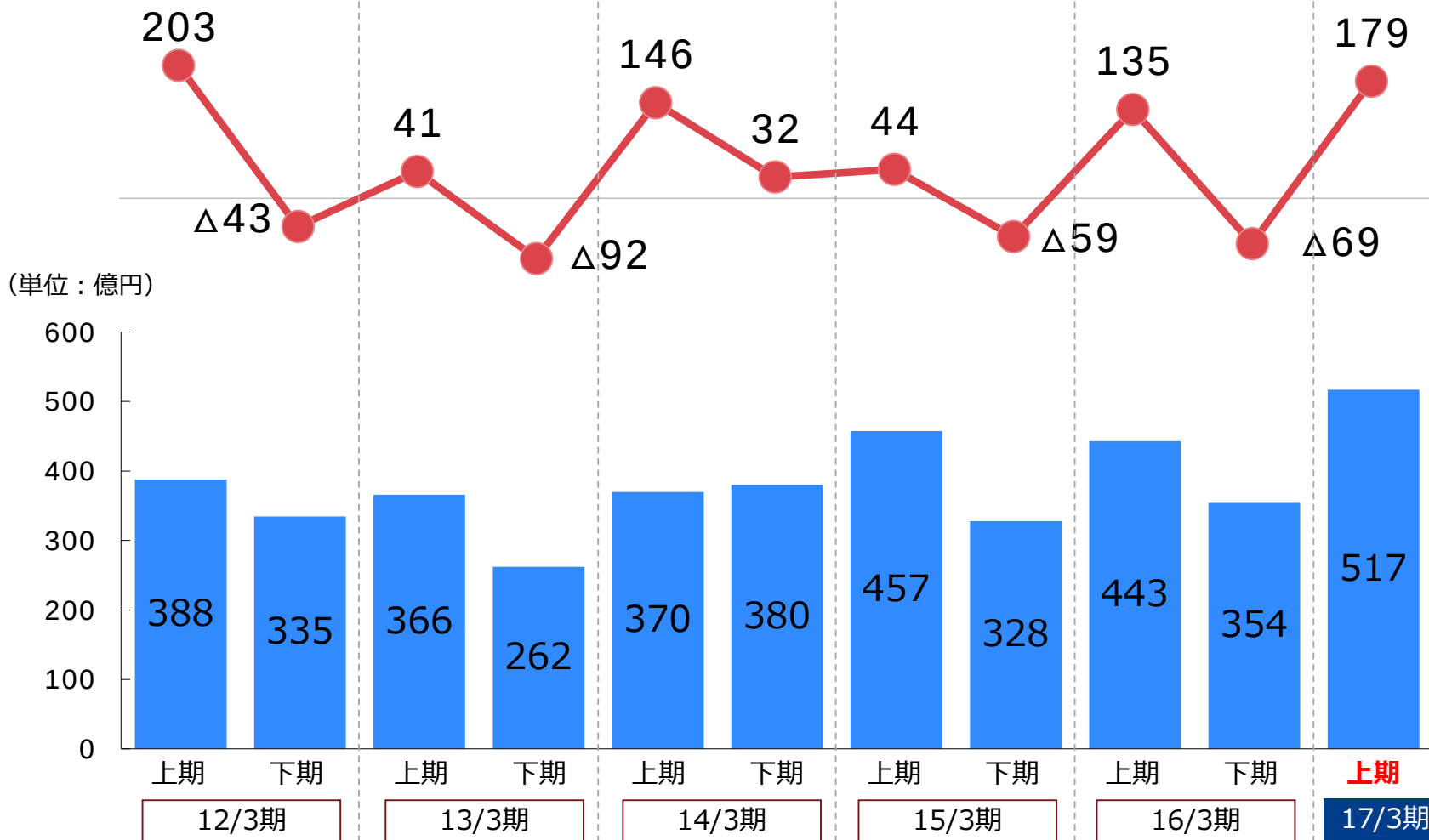
# (参考)2017年3月期 上期 キャッシュフロー

(単位：億円)

FCF

(単位：億円)

ネット  
キャッシュ  
※



※ネットキャッシュ＝現金および現金同等物（含む有価証券）－借入金

# 本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

当社グループでは、2015年2月/4月にグループ経営の効率化を図るため、国内子会社の再編を行いました。これを受け、当連結会計年度より、従来「その他」セグメントに含まれていたネッツエスアイ東洋(2015年4月、NECマグナスコミュニケーションズに吸収合併され解散)を「キャリアネットワーク」セグメントに含める等の報告セグメントの内容変更を行いました。15/3期は、これに合わせた組替え値で表示しております。



# 明日のコミュニケーションをデザインする



NECネットエスアイは、お客様の目線に立った  
これからのコミュニケーションをデザインする会社  
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

**nesic**

検索



 **Orchestrating** a brighter world

**NEC**

NECネットエスアイ

[www.nesic.co.jp](http://www.nesic.co.jp)